

平成29年度 地方独立行政法人奈良県立病院機構
医療事故、ヒヤリ・ハット分類別3病院合計報告件数(転倒・転落を除く)

事故の分類	3病院合計(件)	構成比(%)
薬剤	760	25.7%
輸血	22	0.7%
治療・処置	225	7.6%
医療機器	210	7.1%
ドレーン、チューブ	445	15.0%
検査	280	9.5%
療養上の世話(転倒・転落以外)	303	10.2%
指示伝達関連	390	13.2%
その他	326	11.0%
合計	2,961	100.0%

医療事故、ヒヤリ・ハットレベル別3病院合計報告件数(転倒・転落を除く)

レベル分類	3病院合計(件)	構成比(%)
0	738	24.9%
1	1,927	65.1%
2	194	6.6%
3a	77	2.6%
3b	24	0.8%
4	1	0.0%
5	0	0%
合計	2,961	100.0%

(参考)

医療事故等の分類(転倒・転落を除く)

レベル	傷害の継続性	傷害の程度	傷害の内容と基準
0	-	-	エラー・不具合に気づき、患者には実施されなかった
1	なし	-	エラー・不具合に気づかず実施したが、患者への実害はなかった
2	一過性	軽度	行った医療または管理により、患者に影響を与えたが、処置や治療を要しなかった
3a	一過性	中等度	行った医療または管理により、本来必要でなかった簡単な処置や治療(消毒、湿布、鎮痛剤投与等の軽微なもの)を要した
3b	一過性	高度	行った医療または管理により、本来必要でなかった濃厚な処置や治療を要した
4	永続的	軽度 ～ 高度	行った医療または管理により、永続的障害が残った 〔 障害が軽度から中等度の場合は4a 障害が中等度から高度の場合は4b 〕
5	死亡	-	行った医療または管理により、死亡

平成29年度 地方独立行政法人奈良県立病院機構
医療事故等(転倒・転落)レベル別3病院合計報告件数

レベル分類	3病院合計(件)	構成比(%)
A	619	83.3%
B	86	11.6%
C	17	2.3%
D	21	2.8%
E	0	0%
F	0	0%
合計	743	100.0%

(参考)

転倒・転落の分類

レベル	傷害の程度	傷害の内容と基準
A	なし	患者に損傷はなかった
B	軽度	包帯、冷湿布、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
C	中軽度	皮膚接合テープ・皮膚接着剤、縫合、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
D	重度	骨折をきたして、ギプス、牽引、手術が必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷のため治療が必要となった
E	死亡	転倒による損傷の結果、患者が死亡した
F	不明	記録からは判定不可能